

羽田イノベーションシティにおける区施策活用スペースについて
(現況報告)

1 区施策活用スペース「HANEDAxPiO (ハネダピオ)」の検討状況

(1) 区施策活用スペースに対する考え方

羽田空港跡地第1ゾーン整備方針では、7つの重点プロジェクトに「起業・ベンチャーの支援」「協創プロジェクトの推進」を掲げている。

この方針を踏まえ、現在、産業経済部と(公財)大田区産業振興協会では、新産業創造・発信拠点形成に必要な機能の付与、効果的な事業展開に向けた検討を進めている。

(2) 交流空間部分の活用イメージ

区施策活用スペースのうち、共有スペースとなる交流空間については、以下の3つの機能を具現化したサービス提供や、モデル事業を展開することも検討している。

機能1：国内・海外と「OTA」をつなぐゲートウェイ機能

主に区内産業の力強さを発信する「ショーケース事業」を実施

機能2：オープンイノベーション支援機能

SDGs(持続可能な開発目標)に資するテーマを中心としたプロジェクト展開を支援

機能3：スタートアップ支援機能

世界をけん引する可能性を秘めた優良なアイデアを伴走支援

2 産業経済部産業振興課職員の勤務場所の変更について

現在、区施策活用スペース「HANEDAxPiO (ハネダピオ)」内に(公財)大田区産業振興協会が羽田拠点室を設けて、今後の本格運用に向けた業務を遂行しているところである。

今後、このスペースを適切かつ効率的・効果的に運営していくにあたり、産業振興課産業交流担当及び連携推進担当が(公財)大田区産業振興協会等と密接に連携し、施策目的に合った事業者の誘致やマッチング等を実現することが必要不可欠となっているため、同担当職員の勤務場所を変更する。

(変更後の勤務場所等)

- ・対象職員 産業振興課産業交流担当及び連携推進担当
- ・大田区羽田空港一丁目1番4号 H I C i t y zone-K 2階
- ・勤務時間等は、本庁勤務と同様
- ・変更年月日は、令和2年10月1日を予定